AGENDA

淡路夢舞台国際会議場ニューズレター

2007
夏　号
VOL.29
平成19年7月発行
兵庫県立淡路夢舞台国際会議場
兵庫県淡路市夢舞台1番地
電話(0799)74-1020
FAX(0799)74-1021
http://www.yumebutai.org

広がる海と空の青
降りそそぐ太陽の光
色濃く鮮やかな花と緑
夏色に染まる淡路夢舞台
国際会議場より
今夏も多彩に情報発信!

写真上： 淡路島まつり(洲本港)
写真下： 紀淡海峡の日の出(洲本港)
写真提供　島内在住S.T.様

開催に寄せて

2007年7月～12月開催予定の主な会議一覧

会　議　名	主なお問い合わせ先
7月	
第2回TOSS W木村塾 in 淡路	TOSS淡路キツツキ
ショウジョウバエ研究会第8回研究集会	理化学研究所神戸研究所
第3回CKP研究会	サイバー関西プロジェクト
第9回固定チームナーシング近畿地方会	固定チームナーシング近畿地方会
日本水道協会兵庫県支部技術研究会	日本水道協会兵庫県支部
平成19年度淡路地域づくり懇話会	淡路県民局企画調整部
AM-FPD '07	産業技術総合研究所太陽光発電研究センター
神戸大学大学院医学系第5回COE研究討論会	神戸大学附属病院
第25回内分泌・代謝学サマーセミナー	神戸大学医学系研究科細胞分子医学
2nd International Symposium on Mobiligence in Awaji	神戸大学大学院工学研究科
浅田共創知能システムプロジェクト研究発表会（仮称）	浅田共創知能システムプロジェクト
超塑性加工ものづくり研究会	大阪府立大学大学院工学研究科
アルミ・チタン会	大阪府立大学大学院工学研究科
12th International Symposium on Novel Aromatic Compounds（ISNA-12）	大阪大学大学院基礎工学研究科
応用物理学会関西支部セミナーフォトニック情報処理セミナー	大阪大学大学院工学研究科
8月	
緑内障サマーキャンプ2007	株式会社ジェイコム
第8回アジア太平洋フォーラム・淡路会議	財団法人兵庫県国際交流協会
関西地区画像・信号処理研究会（仮称）	関西大学大学院工学研究科
'07酒井式レベルアップ講座in淡路	TOSS淡路キツツキ
CDAMS国際シンポジウム　法・市場・水平的秩序ー法学・経済学・倫理学の対話ー	神戸大学大学院法学研究科
第37回全国珠算学校連盟集合研修会	社団法人全国珠算学校連盟
淡路島七福神霊場会開創三十五周年記念祝賀式典	淡路島七福神霊場会
9月	
特定領域研究「感染現象のマトリックス」総括班会議	特定領域研究「感染現象のマトリックス」班
第7回あわじしま感染症・免疫フォーラム	大阪大学微生物病研究所
京都大学全学教育シンポジウム	京都大学高等教育開発推進機構
The 8th Annual Symposium Japanese Society for the Advancement of Women's Imaging（JSAWI2007）	8th JSAWI 事務局
UAE研究会（子宮筋腫塞栓療法研究会）	杏林大学医学部放射線医学教室
第4回TOSS伴一孝ドリーム講座 in 淡路	TOSS淡路キツツキ
バイオCOEサマーキャンプ2007	奈良先端科学技術大学院大学
第24回有機合成化学セミナー	徳島文理大学薬学部
平成19年度近畿ブロック商工会女性部研修会（仮称）	兵庫県商工会連合会
国連大学グローバルセミナー2007	財団法人神戸国際協力交流センター
4th International Workshop on Infrared Microscopy and Spectroscopy with Accelerator Based Sources（WIRMS2007）	神戸大学大学院理学研究科
第2回若手医師のための腎セミナー	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
10月	
2nd International Symposium on Atomic Technology	大阪大学工学研究科原子分子イオン制御理工学センター
第8回国際染色体異常シンポジウム	国立医薬品食品衛生研究所
奈良先端科学技術大学院大学物質創成研究科博士論文中間審査会	奈良先端科学技術大学院大学物質創成研究科
日本広東経済促進会	日本広東経済促進会事務局
11月	
ITあわじ会議	兵庫県
誘電体研究委員会	財団法人科学技術振興会
13th US-JAPAN Seminar on Dielectric and Piezoelectric Ceramics	富山県立大学工学部
第59回兵庫県中学校長会研究協議会淡路大会	兵庫県中学校長会事務局
アジア青年建築交流会議	神戸芸術工科大学
消化器病態研究会　（仮称）	神戸大学医学部消化器内科
第6回北東アジア標準協力会議	財団法人日本規格協会
国際景観園芸フォーラムin淡路	財団法人淡路花博記念事業協会
日本文化デザイン会議 淡路地域会議	日本文化デザイン会議事務局
メンブレントラフィック国際会議	長浜バイオ大学バイオサイエンス学部
12月	
21世紀COE「物質機能の科学的解明とナノ工学の創出」	大阪大学大学院基礎工学研究科
3rd International Symposium on Chemistry of Coordination Space（ISCCS2007）	京都大学大学院工学研究科

※上記は都合によりキャンセル・変更される場合があります。

第2回移動知国際シンポジウム
2nd International Symposium on Mobiligence in Awaji

18-20 Jul. 2007

2007年7月18日（水）～7月20日（金）、第2回移動知国際シンポジウム（実行委員長:神戸大学教授大須賀公一）が開催されます。「移動知」とは、文部科学省科学研究費補助金特定領域研究（領域番号454）の研究題目「身体・脳・環境の相互作用による適応的運動機能の発現-移動知の構成論的理解-（領域代表:東京大学教授淺間一）」の略称です。動物は、様々な環境において適応的に行動することができます。この適応的行動能力は、動くことで生じる身体、脳、環境の動的な相互作用によって発現されるものと捕らえ、私たちは「移動知」と呼んでいます。本研究では生物学と工学を融合し、神経生理学の知見に基づいたモデル化、ロボティクスなどの技術を適用したモデル化を行い、人工システムを構成することで、移動知発現メカニズムの解明を図ることを考えています。本シンポジウムでは、移動知に関する最先端の結果を、国内外から投稿された約60件のポスター発表、各計画班（A、B、C、D班）によるオーガナイズドセッション（招待講演を含む）などによって一堂に集積し、新しい学問領域である「移動知」の今後の発展に向けてのディスカッションを行います。また、最終日にはJST ERATO 浅田共創知能システムプロジェクトとの合同パネルディスカッションも企画されています。

神戸大学大学院
工学研究科
教授
大須賀公一

第12回新芳香族化学国際会議（ISNA-12）

22-27 Jul. 2007

2007年7月22日～27日に、第12回新芳香族化学国際会議（12th International Symposium on Novel Aromatic Compounds、略称:ISNA-12）を開催します。本国際会議は、1970年に非ベンゼン系芳香族化学国際会議として、日本において初めて開催された国際会議ですが、日本で開催するのは今回が3回目です。会議の内容は研究領域の発展とともに広がり、芳香族化学にとどまらず広く共役パイ電子系化合物の合成、物性から機能にわたる幅広い研究を対象とする国際会議に成長してきました。今回は、この分野を先導している著名な研究者が勢揃いしただけでなく、次世代を背負って立つと期待されている研究者や、新進気鋭の上り坂にある若手研究者も招待講演を行います。約20カ国から400名の参加者が予定されており、全部で34件の特別講演、基調講演、招待講演とともに、38件の一般口頭発表と240件のポスター発表が行われます。この分野の現状を把握するとともに将来を展望し、その成果を広く学界・産業界に還元することを目的としています。また同時に、一般を対象とした市民公開講座を開催し、特に青少年の科学技術への関心を高めることにも努めます。

大阪大学大学院
基礎工学研究科
教授
戸部義人

第24回有機合成化学セミナー

12-14 Sep. 2007

有機合成化学協会中国四国支部主催による「第24回有機合成化学セミナー（旧称:有機合成化学夏季大学）」を今秋9月12日（水）～14日（金）の3日間、淡路夢舞台国際会議場において開催することになりました。本セミナーは、毎年200名に及ぶ多くの若手を中心とした研究者が一堂に会して夜を徹して討論を繰り広げ、充実した有意義な3日間を過ごすというものであり、従前の「有機合成化学夏季大学」から回を重ねて本年で24回に至りました。本セミナーが常に我が国の有機合成化学の発展を先導するという大きな役割を果たしてきたことは万人の認めるところであります。本年も昨年に引き続き、一昨年創設されましたMukaiyama Awardの表彰式・受賞講演（国内外各1件）をこの有機合成化学セミナーの中で開催することに加え、Lectureship Award受賞講演（国外1件）、招待講演（国内9件、国外1件）、本協会奨励賞受賞講演（5件）のほか、約50件にのぼるポスター発表を行います。有機合成化学は、広く理学、薬学、農学、工学の分野にまたがる重要な学問であり、関連する産業界に益するところも極めて大きいものと思われます。本セミナーは、受賞講演はもとより、招待講演も世界最先端の内容であり、その充実度において世界に誇り得るものであります。参加者は欧米の他にも、韓国、インド、中国、インドネシア等にまたがり、華やかな国際的セミナーに成るものと期待されます。

徳島文理大学薬学部
薬品製造学教室
教授
西沢麦夫

開催を終えて

第6回非弾性X線散乱国際会議（IXS2007）

7-11 May 2007

2007年5月、連休明けに開催された第6回非弾性X線散乱国際会議（IXS2007）は無事に終わり、肩の荷を一つ降ろすことができました。同国際会議はX線の非弾性散乱現象とその応用を主テーマとし、3年毎に開催されている100人規模の会議です。当初、参加人数は多くて100名、実質70～80名と見込んで準備を進めていたのですが、開催日の1ヶ月程前に参加者数が110人を上回ることがわかり、急遽、会場を二周り程大きいと感じるメインホールに変更しました。もしかしたら、途中で会議から離れる方が多く、大きな会場が閑散とするのではないかという心配がありましたが、気苦労に終わりました。その理由のひとつは、メインホールの心地良さと会議場を取り巻く海、山、花ありの環境にあったと思います。会議終了直後、参加できなかった海外の研究者数名から会議成功のお祝いメールを頂きましたが、参加者が彼らに会議の様子、会場の雰囲気をメールしたからでしょう。このような例も、参加者の会議、会場に対する好印象を反映しているものと思います。最後に、この場をかりて、参加者、実行委員会のメンバーそして淡路夢舞台国際会議場の方々に感謝申し上げます。

（財）高輝度光科学
研究センター
副主席研究員
櫻井吉晴

LIBRARY

4月～6月に開催された主な会議

日本分子生物学会
第7回春季シンポジウム（4月）

第5回幹細胞シンポジウム（5月）

第47回日本リンパ網内系学会
学術集会（5月）

津名郡神社総代會
結成五十周年記念式典（5月）

兵庫県中学校退職校長会
四十周年記念総会（6月）

夏の味覚

伝統ある地場産業
昔ながらの製法にこだわり続ける
淡路手延べそうめん

歴　史

淡路島がそうめんの生産地としてピンとこない方が多いかも知れません。しかし昔から、麺の細さ、コシ、おいしさには定評があり、品質は全国そうめん産地の中でもトップクラスです。

その歴史は奈良県、三輪地方に次いで古く、天保年間（江戸時代:1830～1843年）まで遡ります。淡路島南部、福良の漁師が伊勢参宮の道中で三輪明神に参拝した折、そうめん作りに遭遇し、その魅力にとりつかれ、製法を習得して淡路に持ち帰ったのが始まりと伝えられています。恵まれた気候風土がそうめん作りに適していたことに加え、関西圏・四国を結ぶ交通の要所でもあり、冬場の漁師の副業として発展していきました。最盛期の大正初めには140世帯が製造していましたが、今では数少なくなり、福良、三原地区の19世帯のみとなっています。

「幻のそうめん」!?

他産地では生産の機械化が進んでいますが、淡路では昔ながらの手作業による手延べ製法を守り続けており、製造には手間と技術を要するため大量生産をすることができません。平成18年の生産量は227トンで全国生産量の0.5%となっています。主に淡路島内、関西の高級料亭などにしか出荷されていないため、関西でも淡路島に来ないと味わうことができません。生産量の少なさと美味しさから、食通の間では「幻のそうめん」とまで言われています。

淡路手延べそうめんは、太さによって3つの銘柄にわかれます。一番太い麺が「淡路糸（あわじいと）」、中細が「御陵糸（ごりょういと）」、極細が「おのころ糸」。そうめんは寒い方が麺の伸びが良く、均一な太さの麺を作ることができるため、製造期間は10月～4月と限られています。更にこの期間の中でも、太さの違う3つの銘柄で製造時期を分けています。厳寒期、それも真夜中の手延べ作業が最も適しており、生産者は夜中二時から作業を始め、二昼夜かけて作り上げます。出来上がったそうめんは倉庫で1年から2年寝かせ、古（ひね）にして出荷されます。淡路手延べそうめんは長時間おいてもふやけず、その細さ、コシ、食感、喉越しは、他のそうめんと比べて食べた一口で違いがわかるといいます。職人の手間と技術と心なくしては生まれない、まさにこだわりの逸品です。

門干し作業

乾燥作業

写真提供：淡路手延素麺協同組合

そうめん豆知識

都道府県別生産量順位
全国総生産量 44,037トン

順位	都道府県	生産量	シェア
1位	兵庫県	21,090トン	(47.8%)
2位	長崎県	10,328トン	(23.4%)
3位	奈良県	3,861トン	(8.7%)
4位	香川県	2,947トン	(6.7%)
5位	徳島県	2,930トン	(6.6%)
6位	岡山県	1,259トン	(2.8%)
7位	愛知県	287トン	(0.6%)
8位	三重県	280トン	(0.6%)

（平成18年農林水産省統計）

古（ひね）について
そうめんは何年か寝かせた（熟成）させた方が美味しくなります。一年以上寝かせることで、麺の中の酵素の働きによって製造過程で塗った油が抜け、麺がしまり、コシが強くなります。この熟成させた麺を古（ひね）といいます。

極細麺「おのころ糸」の細さ
一束50gのおおよその本数

一般的な素麺	450～500本
御陵糸	500本
おのころ糸	900本

淡路名物「鯛そうめん」は、
ウェスティンホテル淡路　日本料理「はなの」で
ご賞味いただけます。
写真:「磯風」…淡路鯛そうめん
明石小蛸の煮付け
淡路穴子寿司

※15名様以上でのご用意となります。ご利用の際はご予約ください。

地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」
地元中学生が会議準備にトライ！

5月半ば、地元の東浦中学校、岩屋中学校2年生5名が「トライやる・ウィーク」で淡路夢舞台を訪れました。「トライやる・ウィーク」とは、学習の場を地域に移し、様々な体験活動や地域の人々とのふれあいを通じて生徒の心を育てようと、兵庫県下一斉に実施するもの。国際会議場では、レイアウト変更や音響・映像機材の設営準備、学会で使用するポスターセッションパネルに演題番号を貼り付ける作業などを体験してもらいました。メインホールの重い机を、ピンと張ったたこ糸に沿ってまっすぐに並べる作業では、「こんな風に糸を使って並べるとは思ってもいなかった。難しい!」と言いながら、全身を使って一生懸命に取り組む姿が印象的でした。

ご利用料金（税込）

会議室名称		面積（㎡）	利用料金（円） 9時～12時	13時～17時	9時～17時
メインホール		580	90,000	120,000	209,000
イベントホール		481	75,000	100,000	174,000
アンフィシアター		275	45,000	60,000	105,000
レセプションホール	A	127	22,000	30,000	51,000
	B	258	44,000	58,000	101,000
会議室	311	179	15,000	20,000	35,000
	301	173	15,000	20,000	35,000
	405	91	8,000	11,000	18,000
茶室	A	90	18,000	24,000	42,000
	B	10	3,000	3,000	5,000
合計（全館利用）			407,000	539,000	927,000

※他に会議室・討議室・控室等18室を4,000円（9ー17時）からご用意しております。

ご利用にお得な制度

（財）兵庫県国際交流協会の国際会議開催助成金
（財）中内力コンベンション振興財団の助成金
「ウェスティンホテル淡路」ご利用時のコンファレンスレート
詳しくはお問い合わせ下さい。
淡路夢舞台国際会議場　TEL:0799-74-1020

淡路夢舞台国際会議場スタッフ紹介

New Face

4月に誘致企画課長として着任しました田中です。明石海峡大橋の架橋直後2年間洲本に勤務しており、2度目の淡路勤務となります。今回は、通勤のプレッシャーも感じず淡路の四季を楽しみながら勤務しております。今までは、利用者として立派な施設だなと思いながら利用していましたが、この春から利用していただく立場となりました。国際会議が出来る兵庫県の誇る施設ですので皆さんに活用いただきたく思っています。

誘致企画課長
田中 朝文

4月より淡路夢舞台国際会議場の一員となりました。

「日本書記」「古事記」の神話において、国生みの舞台であり、わが国揺籃の地とも言える淡路島は、豊かな知見を育む会議の場として誠に相応しい場所ではないかと感じています。

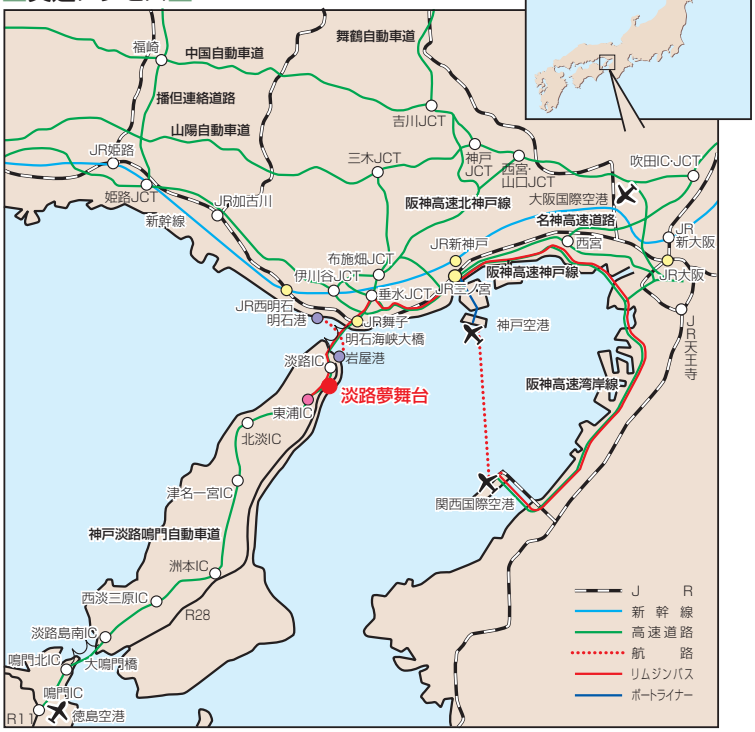
国内はもとより世界各国からご来館いただく皆様にとって、記録以上に記憶に残る素晴らしい会議となりますよう鋭意努力する所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

誘致企画課
加古 真平

世界から、日本から、快適アクセス

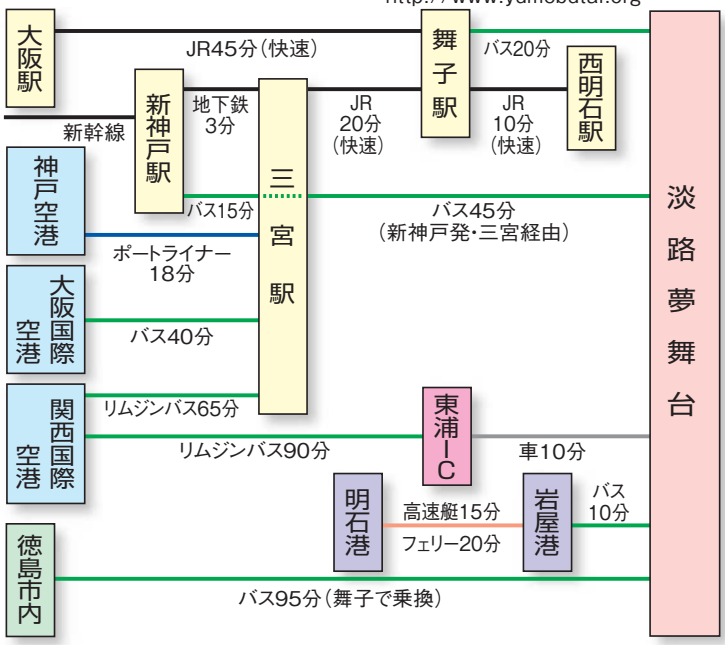
明石海峡大橋を経由し、車で大阪から60分、神戸から30分
（淡路I.C、東浦I.Cから車で5分）

交通アクセス



公共交通機関

▶ 運賃、時刻表等、詳細はHPをご覧ください。
http://www.yumebutai.org



あとがき

まだ初夏の風が心地よい5月下旬、「明石海峡大橋ブリッジワールド」に参加しました。これは、普段立ち入ることのできない大橋の神戸側主塔の頂上、海上289mに登るツアー。主塔までは作業通路である橋桁を片道約1km歩いて行き、主塔内部のエレベーターで地上98階まで登りました。主塔頂上から眺める360度の大パノラマは圧巻。まるでヘリコプターの遊覧飛行で空中から地上を見下ろしているようでした。明石海峡大橋は、二つある主塔間の距離が1,991mで、世界一の長さを誇る吊橋。また、メインケーブルの諸元である「素線」は直径5.23mmのピアノ線で、その長さは約30万km。地球を7周以上する長さだそうです。案内して下さったツアーリーダーから橋の技術や歴史、建設中の体験談を聞くにつれ、その偉大さを改めて感じました。「日本にある世界一」は、そう多くあるものではありません。島外に住む夢舞台職員が、毎日この「世界一」を渡り通勤していることは、実は貴重な事ではないかという気さえしました。

さてこの程、「素線」の実物の一部が夢舞台国際会議場のギフアウェイグッズの一つとして仲間入りし、日頃ご愛顧いただいている皆様に進呈しております。数に限りあるこの素線実物、お手元に届いた方には是非「世界一」を感じていただき、この大橋を渡り、淡路夢舞台にお越しいただければ幸いです。（爲後）